

「仏法は用功の処なし。ただ是れ平常無事。屙屎あし送尿そうにょう、着衣喫飯、困じ来たらば即ち臥す。愚者は我を笑う。智者は乃ちこれを知る。」（臨濟録）

（意味） 仏法には計らいを加えるところは無い。仏法の究極は日常を無事に生きることである。トイレに行ったり、暑さ寒さに応じて服を着替えたり、お腹が空いたら食事をし、眠くなったら眠れば良いのだ。愚か者はこれを見てバカにするかもしれない。しかし、本当の智者はよく理解してくれるだろう。

当たり前のように生活する日々、これを感謝出来る心を持つことは、実に人間として一番の幸せであります。社会的に成功を成し遂げても、自ら此処に生きることが不思議であることがなければ、世の珍宝を得ても本当の喜びを知らぬ者であります。

震災の後、私達は多くの犠牲者の方々から命の尊さを学びました。冷え切った身体を温めた炊き出しの食物に、食べる事の本当の喜びを覚えてもらいました。しかし、私達の多くが、それを忘れ掛けているような気がします。亡くなられた方、ご家族を亡くされた方の御心を思い、日々を大切に生きましょ。

東園寺住職 千坂成也

（六月発行 瑠璃光より）

お盆の法要と七七如来（精霊札）の心得

◎「自分だけ」「自分の先祖だけ」ではいけません

東園寺では昭和四十二年より従来行われていた棚経（たなぎょう）を廃止し、後述の日程により、檀信徒の方々には寺にお参り頂いて、お盆の供養を行っております。お盆とは「逆さに吊るされる苦しみ」を意味する盂蘭盆（うらばん）という言葉が由来です。この盂蘭盆会、お釈迦様の高弟目連尊者の母が餓鬼道に落ち、これを救う為に目連尊者がお釈迦様の進言に随い、雨安居という三ヶ月の修行を終え懺悔の法要を為して心清らかになられた僧侶に供養したところ、母親は見事に救われたという逸話に基づいています。盂蘭盆経によれば、盂蘭盆会（うらばんえ）とは我々が七回輪廻を繰り返して来た都度の父母が倒懸（さかさまに吊るされること）の苦しみを味わうこと無いように、また父母が現存しているときは父母が百歳の長寿を全うするように、お勤めするものだそうです。今日の臨濟宗の法要では盂蘭盆会の法要と施餓鬼会（せがきえ）と呼ばれる法要が混交し、施餓鬼法要をもってお盆の供養に当てることになっております。

施餓鬼会とは六道（地獄、餓鬼、畜生、修羅、人、天）の中でも三つの悪い世界の一つに数えられる餓鬼道のものをお救い法要のことです。



震災犠牲者三回忌法要
園児によって供えられた花燈籠

餓鬼の世界は食物を得るのがままならぬ世界であります。それだけに食に対する欲望はとて多いのだそう。餓鬼が凶示された場合に喉が非常に細く、またお腹が非常に膨らんでいるように描かれるのは、欲望が大きく食が得がたい事を意味しています。

餓鬼道は私利私欲が強く、他に施しをせずに人生を送った者が落ちる世界であると説かれます。目連尊者の母親も家族は大切にしましたが、他人にはひどく冷淡であった事から、餓鬼道に落ちたとされています。

お盆の際に檀家の方々に差し上げる精霊符には七如来のお名前が記されています。七如来とはこの餓鬼道に落ち苦しむ者を救う佛様です。お盆の期間中は、八月八日の法要で開眼された七如来の名号を施し餓鬼棚あるいは仏壇の本尊として頂き、自らの先祖のみならず広く餓鬼幽霊を救うおつもりで供養して頂ければ幸甚と存じます。「自分だけ」「自分の先祖だけ」では無く、広く世の安寧を祈るのが本当はお盆供養の肝心要です。

お盆法要の日程

○七如来名号開眼法要

・八月八日午前十時（午前十一時頃終了）

・法要と法話がございます。どなたでも参加出来ます。（参加費二百円）

○七如来名号（精霊札）授与

・七如来名号（精霊符）は八月八日の開眼法要後より授与申し上げます。尚、



団扇の配布はお盆期間中のみと致します。

○お墓掃除 八月八日より十二日まで

・お盆の期間が始まる前に墓地の清掃を行いましう。

○お盆期間中の法要

八月十二日 午後六時 精霊迎え法要

・蓮華の形をした蠟燭の灯で御霊を迎えます。法要後は参加者各家に蠟燭を差し上げます。（数に限りがありますので、各家に付き一つとさせていただきます。）

・どなたでもお参りして頂きます。

八月十三日 午前六時～午後五時

・例年通り、七如来名号（精霊札）を授与します。

・喪中の家以外は赤の熨斗袋に布施と書いて納めて頂ければ結構かと存じます。

八月十四日 午前十時 新亡供養

・新亡の方には改めてご案内を申し上げます。

八月十五日 午前十一時三〇分

平和祈願戦没者供養法要

・ご自由に参拝して頂いて結構です。

八月十六日 午後六時

精霊送り法要

・お盆の各自宅にお持ち頂いた

七如来名号の総供養です。

・お返し頂いた方すべての家名

を任職が唱え供養します。

・どなたでもお参りして頂けます。

・七如来名号は必ず十六日午後六時まで返却して下さい。

もし返却出来なかった場合は自宅に焼いて頂くか、後日寺に納めて下さい。



昨年の精霊迎え法要

○孟蘭盆会供養塔婆

一体七〇〇円 八月一日より受け付けます

・ご自分の墓地はもちろん、他家の墓地にお参りした際の供養のおしるしにお供えください。



施餓鬼棚 (せがきだな)

昔は各家にも仏壇とは別に施餓鬼棚が飾られ、ご先祖様をお迎えしました。施餓鬼棚とは中央に餓鬼飯と呼ばれるご飯を置き、生霊供(なまりようぐ)と呼ばれる生野菜や、海の産物である昆布や寒天が



施餓鬼棚

供えられました。菰の上に蓮の葉を敷いてゆでた素麺やご飯が供えられることも多いようです。施餓鬼棚は餓鬼に施すという元来の意義からすれば、外か外に近い縁側等に荘厳し、餓鬼は太陽が嫌いなことから夕方にお供えするものですが、今日は住宅事情等もあり、仏壇の前にお盆のお供物として施餓鬼棚の名残と思われる供物が供えられる場合が多いようです。しかし、元来、施餓鬼の意味からすると、餓鬼飯(がきめし)等のお供えは家の先祖に供えるというよりは、先祖供養の功德を増す為に、餓鬼道に落ちた者に供えるものだと思います。

これからの行事

○不動堂大祭 今年もやります! 奉納プロレス

十月十日午後二時法要引き続き奉納プロレス

奉納ベンチプレス大会

どなたでも参加して頂けます。但し、護摩祈祷五〇〇円をお申し込みください。プロレス観戦の後はレスラーと一緒にいも煮会!

○寺で婚活! 寺コン4

十二月一日開催! 詳細は次号で!

釈子塔

釈子(しゃくし)とはお釈迦様の弟子という意味です。釈子塔は先祖代々という家族単位の供養のあり方を超えて、同じ仏教徒としての供養のあり方を提案するものです。「私には子供がいない。」「家は娘ばかりでみんな嫁に行ってしまった墓を守る人がいない。」など様々な



理由で「墓地をもてない」「墓地をもたない」という方々の為のお墓です。墓地納骨冥加金は下記の通りです。

納骨供養料 十万円 檀信徒登録済（年会費 五千円）の方
特 徴

* 歴代住職と共同墓地なので、家族が絶えても恒久的に誰かが墓参してくれる。

* 維持費は基本的に不要。（故人に配偶者が居られる場合は、配偶者存命の間のみ年間五千円の維持費を頂きます。）

* 墓地を取得し、墓石を建立する費用がかからない。

○墓地については。いつでも自由に見学して頂けます。

通称稲荷下のグランドパレス横の小路をお進み下さい。専用駐車場もございます。また、従来からの墓地にも空きがございます。こちらは新墓地よりも永代使用料がお安くなっています。

○現在の墓所に危険を感じられる方へ

先日の東日本大震災の経験を踏まえ、危険と思われる墓地の移動を推進しております。現在の場所に不安を感じている方で、境内墓地内への移転のご希望がございましたら、当山までお申し付けください。当山が危険と認めた場合には、移転先の墓地冥加金は免除（新墓地の場合には墓地使用冥加金減額）致します。但し、移転費用は各自のご負担となります。

坐禅会

毎週日曜日 朝七時 東園寺
※体操を挿んで50分程度の初心者向けの坐禅会です。どなたでも参加できます。

東園寺ホームページ

毎月更新しています。掛け軸の紹介や法話のページ等盛りだくさん!

ブログ「布袋の袋」

ホームページ上の日記です。坐禅会や法話会の日程が確認して頂ける他、庭園の開花情報や、幼稚園の情報等を、ほぼ毎日更新してお伝えしています。スマートフォンや携帯電話でもご覧頂けます。下記のバーコードをご利用ください。



平成二十五年 地蔵流し法要 参加者募集について

地蔵流しとは海にお地藏さまの札を流し先祖の供養をするものです。お盆の供養の締め括りであり塩釜独自の海上法要です。この機会に是非一人でも多くの方々の方々の御参加をお奨め致します。供養が終わってから約一時間位、初秋の松島湾を巡遊して帰港します。お弁当を御持参の方は船内でお召し上がり下さい。

一、日時 九月十一日(水) マリンゲート塩釜に集合(塩釜市港町一四一)

電話三六一一五〇〇

午前十時 出航 途中海上にて法要

午前十一時 松島海岸着 希望者は下船できます。帰路は記章を船会社の係員に掲示し当日限り乗船できます。

午前十一時十分 松島海岸出航

正午 塩釜帰港 解散

一、会費 三、五〇〇円(経木塔婆供養を含む)

会費納入後不参加の場合は供養料として申し受け、返金は致しません。

一、申込期限 八月末日(厳守のこと)

一、申込先 各地区寺院

【注意】
○ 供物或いは花等は定められた以外に海に投入しないこと。
○ 当日の塔婆受付はありません。申込寺院に一体、千円を添えて前もって申し込み下さい。
○ 雨天でも厳修致します。台風等で出航出来ない場合は順延となります。



昨年の地蔵流し

参加申込書

| | | |
|----|----|----|
| 氏名 | 電話 | 住所 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

※参加費 三、五〇〇円には申込の経木塔婆供養料が含まれています。

塔婆供養のみの申込書

| |
|----|
| 戒名 |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

供養者氏名

キリトリ線

キリトリ線

キリトリ線